

組合員各位

新型コロナウイルス感染拡大防止への学習塾の対応について 第 65 報

全国学習塾協同組合 理事長 森 貞孝

東京都 1 日の感染者 1 万人超え 34 都道府県にまん延防止等重点措置拡大

政府は急激な新型コロナウイルスの感染拡大に対してさら 18 道府県にまん延防止等重点措置を発出することを決定した。

これで 47 都道府県のうち、東北・四国など一部の地域を除いて、日本のほとんどの地域がまん延防止等重点措置を発出することになった。

新たにまん延防止等重点措置を発出する道府県

北海道・青森・山形・福島・栃木・茨城・長野・静岡・石川・京都・大阪・兵庫・岡山・島根・福岡・佐賀・大分・鹿児島

1 月 27 日から 2 月 20 日まで

既にまん延防止等重点措置を発出している都県

東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・新潟・愛知・岐阜・三重・香川・長崎・熊本・宮崎

1 月 21 日から 2 月 13 日まで

既にまん延防止等重点措置を発出している県

広島(全県に拡大)・山口・沖縄

1 月 9 日から 1 月 31 日までを 2 月 20 日まで延長

現在の情勢

1. 感染力の強いオミクロン株が 1 月に入って連日過去最多を更新、1 日の感染者が 5 万人を超えた。
2. 22 日には 30 の都道府県で、過去最多を更新した。
3. 全国の感染者数が昨年 8 月の 25800 人台の 2 倍以上、22 日 54,576 人と過去最多になった。
4. 若者・低年齢層に感染が移り、この層はワクチンの接種率が低い。また無症状・軽症者が出歩くことで、感染の拡大が止まらない。
5. アメリカでは 1 日で 140 万人を超える新規感染者が出たものの、その後ニューヨークなどは急速に新規感染者は減っている。
6. 重症者は少ないが、病床のひっ迫度合いが加わった。重症者は少ないが年初の 8 倍に増えてきた。
7. 重症化しないと軽く考えているケースで、どんどん広がって家庭内・職場・学校・学習塾などでクラスターが発生している。

世界の情勢

世界の新型コロナウイルス感染者数はジョンズ・ホプキンス大学の集計によれば 1 月 22 日現在感染者数 3 億 4670 万人とわずか 4 日間で 1670 万人近く増加した。死者 558 万人、死者数は大幅に減少してきている。イギリスやインドでも感染のピークは過ぎたように見えるが、北京では新たにオミクロン株の感染が見つかって、オリンピックの直前の中国に激震、一般の観客は競技場に入れないことになった。

日本の情勢

12月末コロナの感染者が下げ止まりからやや増加傾向になり、オミクロン株の市中感染が少しずつ見つかってからわずか半月で様相が一変した。激しい第6波は前週の数倍という信じられないスピードで日本全国に広がり始めた。かかっても無症状や軽症で終わるケースが圧倒的に多いが、そのため学校や学習塾内で感染が拡大し、家庭へ持ち帰って家族間感染、高齢者への感染が起こっている。塾や学童保育などが感染拡大の温床にならないよう徹底した注意が必要だ。

レベル4 (避けたい)	一般医療大きく制限も コロナ医療対応できず	地域超えた病床調整 「災害医療」の対応
レベル3 (対策強化)	一般医療の相当な制限 従来のステージⅢとⅣ	大都市で緊急事態宣言 飲食店・イベント制限
レベル2 (警戒強化)	感染者増加傾向 病床増で適切に対応	保健所の体制強化・ 病床確保を段階的に
レベル1 (維持すべき)	感染者いても 安定して医療対応	日常生活の回復可能
レベル0	感染者無し	ワクチン・基本的対策

レベル判断のための指標

ステージ1	感染ゼロ散發段階	感染者が散發的に発生
ステージ2	感染漸増段階	感染者が徐々に増加・医療提供体制への負荷が蓄積
ステージ3	感染急増段階	感染者数が急増・医療提供体制に支障
ステージ4	感染爆発段階	爆発的な感染拡大が起き医療提供体制が機能不全に

新規感染者数(令和4年1月)まん延防止等重点措置都道府県(単位:人)

	1日	5日	10日	15日	20日	21日	22日	23日	24日
北海道	23	34	106	695	1437	1644	1605	1591	1589
青森県	0	6	10	142	227	183	277	145	77
福島県	3	13	21	51	107	116	119	157	143
山形県	0	14	11	39	56	74	85	60	123
栃木県	17	30	43	203	443	350	492	498	422
茨城県	1	16	48	255	476	595	639	693	649
群馬県	21	24	85	319	612	645	709	627	445
東京都	79	390	871	4561	8638	9699	11227	9468	8503
神奈川県	20	93	518	1538	3344	3412	3408	3794	5276
千葉県	13	69	255	945	1596	2215	2296	2382	2760
埼玉県	14	82	292	1173	2452	2405	2695	2525	3181
新潟県	5	10	76	284	469	470	494	406	383
長野県	3	26	135	211	441	435	485	502	434

静岡県	3	27	89	488	1050	1156	1162	1146	762
石川県	1	4	18	92	180	229	263	226	193
岐阜県	2	40	33	251	419	577	539	503	414
愛知県	14	73	241	1480	3074	3187	3457	3050	2492
三重県	2	3	27	206	364	325	369	422	359
京都府	17	91	126	725	1320	1467	1533	1497	1012
大阪府	70	244	499	3692	5933	6254	7375	6219	4803
兵庫県	19	59	167	1188	2481	2944	2727	2686	1841
岡山県	3	11	59	218	510	549	565	572	444
広島県	21	137	672	1212	1569	1532	1585	1476	1056
島根県	5	6	31	81	167	190	158	150	115
山口県	17	104	101	220	295	307	340	353	293
香川県	0	7	11	62	167	171	188	185	156
福岡県	18	46	212	1098	2224	2668	2833	2646	2013
佐賀県	0	14	55	171	256	293	281	153	299
大分県	0	2	32	108	304	287	332	319	253
熊本県	0	4	76	411	710	644	773	687	516
長崎県	1	15	49	207	474	485	493	432	360
宮崎県	0	3	11	137	328	339	319	318	204
鹿児島県	0	19	107	166	303	288	370	407	274
沖縄県	52	623	779	1829	1309	1236	1313	956	611
日本全体	535	2638	6438	25630	46199	49854	54576	50030	44810

塾としての対応

1. 発熱・体調不良の講師は、必ず休ませる。
2. 指導生徒の発熱・体調不良の場合、絶対教室には入れない。
3. 手洗い・マスク・換気・消毒等徹底させる。
4. 生徒のワクチン接種については、塾として柔軟に対応する。
5. 政府のマスク無料配布は現在まだ受付中。1月28日まで厚生労働省のサイトから申し込むことができる。
6. 学校では、複数の生徒が陽性の場合、学級閉鎖。複数の学級が学級閉鎖なら休校。
7. 濃厚接触者については、あまりにも数が多いため、チェックしていないので、各塾では生徒間での感染・接触について厳重に注意すること。
8. 生徒が、塾以外に通ったりしているところを調査し、そのうちのどこかで感染が起こったなどといった情報をキャッチして自塾内でクラスターが起こらないように注意したい
9. 組合としては軽症・無症状者が多いから2類からインフルエンザと同等の5類にすることは反対だ。
理由 5類になればインフルエンザと同様一般の病院で診療できる。ということは陽性者が一般患者と一緒に病院に来ることになり、一気に感染が今の数倍に広がる。子どもから家庭内感染で高齢者へ拡大し、治療薬も5類なら自己負担。3割負担になると10万円近くかかる。感染者は軽症では激しいのどの痛み、無症状と言っても脱毛や倦怠感などの後遺症が報告されている。感染数が増えている現在、重症者数も比例して急速に増え始めている。